

面積図に整理する問題

1枚70円の切手と、1枚120円の切手を合わせて20枚買ったところ、合計で1750円でした。切手は何枚買いましたか。

中学受験で、最もよく見るやつです。
ドラ○エのスラ○ムぐらい定番です。
これをやっつけられないのはまずいですね…。
サクッとやっつけられるように練習しましょう。

まずはこう解け！

Step1 つるかめ算の面積図を書く！

Step2 高さが低い方の長方形の面積を計算する！

Step3 はみ出している長方形の面積に注目して計算する！

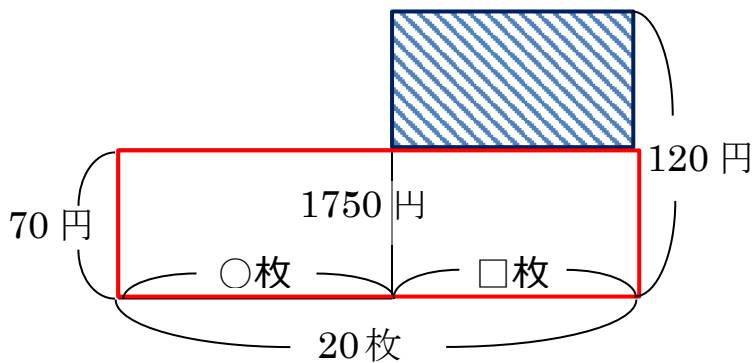
確認しておこう！【面積図とは・・・】

(長方形の面積) = (たて) × (よこ) で計算できるため、2つの積(かけ算)の関係のものを、面積を利用して解こうとするのが面積図の考え方。

(金額) × (個数)、(速さ) × (時間)、(もとの量) × (割合)、
(平均) × (個数) などに利用できる。

数量がことなる2つのものを縦の長さとして書き込み、合計の量がわかっているものを横の長さとして書き込む。

😊 解き方



□の面積を求めると、 $70 \times 20 = 1400$

全部で1750円なので、▨の面積は $1750 - 1400 = 350$

▨のたての長さは $120 - 70 = 50$ なので、横の長さは

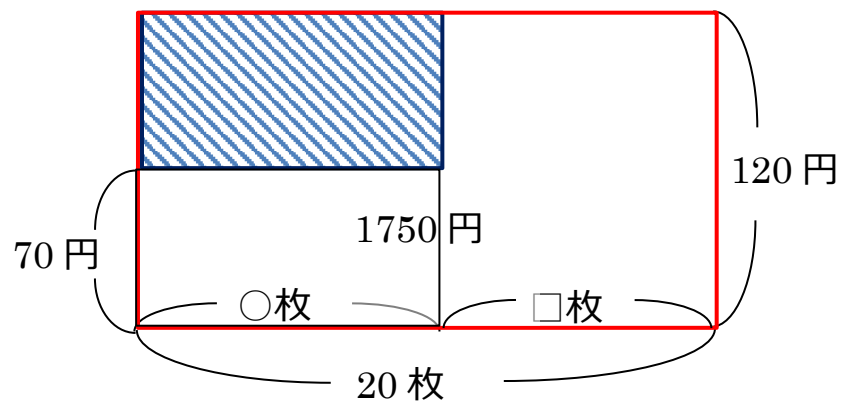
$$\square = 350 \div 50 = 7$$

求めるのは切手の枚数なので、 $\bigcirc = 20 - 7 = 13$ 枚

答え 13枚

【別解】

※全体の面積から引くように計算しても良い。



$$(120 \times 20 - 1750) \div (120 - 70) = 13 \text{ 枚}$$